

#04

労働基準局

Labour Standards Bureau

働く人の生活、安全、健康を守る

私たちの使命 Our Mission

働く人の立場に立って、皆さんの生活、安全、健康を守っていくことが労働基準局の使命です。そのために、労働条件の最低基準を定め、それを遵守するよう企業等に指導していくとともに、労働条件の設定のルールやもしものときの労災保険制度を整備することで、働く人が安心して快適に働くことのできる社会を実現していきます。また、長時間労働の是正や副業・兼業等の多様な働き方を進め、「働き方改革」を実行していきます。

部局の所掌分野

労働条件の確保・改善

労働時間や賃金、職場での安全衛生といった労働条件の最低基準を定め、全国で守られるよう取り組んでいます。また働く人と雇う人の間の労働関係が良好なものとなるよう、労働条件の設定のルールを



整えるほか、働く人の団結権の保障や紛争解決の援助を行っています。

働く人の安全と健康の確保

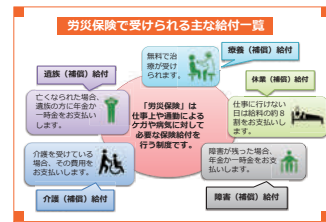
働く人が、毎日元気に仕事に行き、帰ってくる…この当たり前の暮らしを守るため、働く現場での事故や過労死の防止、メンタルヘルスの確保、病気の治療と仕事の両立と



いった働く人の安全と健康を守るための施策を行っています。

労災保険制度

労災保険は、働く人の業務中や通勤中のケガ等に対して、必要な補償を行う制度です。最近では、過労死等による労災請求が増加しており、迅速かつ適正な保険給付に努めています。



01 最低労働条件を確保

働く際の賃金や労働時間、職場での安全衛生などの労働条件の最低基準は、労働基準法などの法令で定められています。こうした法令を企業に遵守させる役割を担っているのが「労働基準監督官」です。

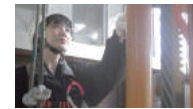
労働基準監督官は全国に325箇所ある労働基準監督署に配置され、企業を訪問し、法令違反に対しては速やかな改善を指導します。また、重大又は悪質な事案については、刑事事件として捜査し、検察庁に送検するなどの対応を行っています。さらに、東京及び大阪労働局に過重労働撲滅特別対策班(通称「かとか」)を設置し、過重労働に関する刑事事件について積極的かつ効率的に対応しています。

これらの取組により、法令に定められた労働条件が守られ、働く人が安心して暮らせる社会を実現していきます。



03 労働災害の防止に向けた取組を推進

働く現場で怪我をされる人は年間11万人を超え、命を落とされる人はまだ1,000人近くにも及びます。長時間労働等による「過労死」、ストレスによる「メンタルヘルス不調」、化学物質による「職業がん」等、働く人の健康課題はつきません。このような労働災害を防ぎ、働く人の安全と健康を守るため、時代の変化に対応した施策に取り組んでいます。平成30年度は、こうした取組を進めるための新たな5か年計画がスタートします。



政策紹介

02 働き方改革

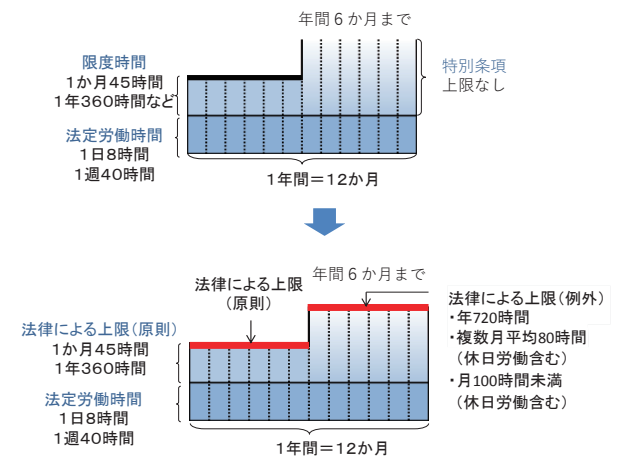
今、一人ひとりの意思や能力、置かれた事情に応じた多様な働き方の選択を可能とするため、働く人の視点に立った「働き方改革」が求められています。

労働基準局では、長時間労働の是正や多様な労働時間制度の普及促進などの「働き方改革」に取り組んでいきます。

具体的には、時間外労働の上限を月45時間、年360時間を原則とし、臨時的な特別な事情がある場合でも年720時間、単月100時間未満、複数月平均80時間を限度とする上限規制の創設をはじめとした労働時間法制の抜本的改革を目指しています。

また、長時間労働になっている人が多い業界について、取引慣行や下請構造にも踏み込んで改善を行うため、事業者や関係省庁を巻き込んで検討を行っています。

時間外労働の上限規制



Hot Topics

病気の治療と仕事の両立支援

高齢化を背景に、病気を抱えながら働く人が増えることが見込まれます。こうした中で、病気を治療しながら働き続けられる社会の実現に向けて、

企業の意識改革や、企業と医療機関等の関係者が協力した両立支援体制の整備等に取り組んでいきます。



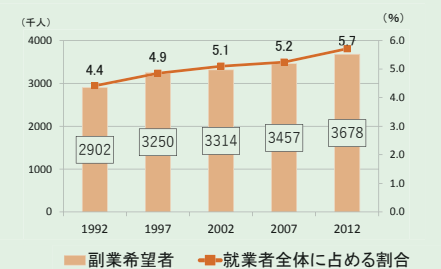
イメージキャラクター「ちりょうさ」

副業・兼業の促進

副業・兼業は、希望する方が年々増加する一方、多くの企業では認めていません。自身の能力を一企業にとらわれずに幅広く発揮したい、スキルアップを図りたいなどの希望を持つ人が、副業・兼業できる環境を整備するため、

働く人や企業の留意点をまとめたガイドラインを策定しました。また、モデル就業規則(就業規則作成の参考になるよう、厚生労働省が示しているひな型)について、原則、副業・兼業を認める内容に改定しました。

副業を希望する者は、年々増加傾向。



(出典)総務省「就業構造基本調査」